

日 時：令和元年 10 月 10 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：唐竹多目的集会所

対象地区：唐竹

出席人数：29 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○防犯灯の LED 化について</p> <p>（市民から）</p> <p>市で防犯灯を LED にしてからは、町会が明るくなった。唐竹温泉の奥の川を渡った場所に、別荘を含めて 5、6 軒家があるのだが、夜に犬の散歩などで行けば真っ暗な状態である。この部分にも LED の設置を要望したい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認したうえで、総務課で協議し検討したいと思う。結果については町会長を通してお知らせする。
<p>○カーブミラーについて</p> <p>（市民から）</p> <p>内山商店を右に曲がって畑に通じる道路の途中に、鏡の入っていないカーブミラーがある。ミラーがないので、反対側から車が来るかどうか確認ができず、道も狭いので車のすれ違いにバックしたりして苦勞する。予算的に設置することは可能か。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認して、対応できるものはすぐ対応しているので、この件についても状況を確認して判断したいと思う。
<p>○井沢団地の消火栓について</p> <p>（市民から）</p> <p>井沢団地に消火栓ができれば欲しいと思っている。貯水槽が端の方に 1 つあるが、高い場所にあり、ポンプで中継してもかなりの労力が必要である。以前は、別荘として長期間留守にする家が多かったが、最近は 5～6 軒ほど通年で住んでいるので、火事があった場合は下から水を上げることになる。上水道が通っていない場所なので難しいとは思いますが、5 か年計画などで検討をお願いしたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・上水道が通っていないので非常に厳しい。前に上水道を整備するとした際に、団地の

方から必要ないと回答があったため整備しなかった。消火栓がなければ火災が起きたときに困ると思うが、今、整備をするのは経費が掛かって難しい。

- ・現在、市で取り掛かろうと計画しているのは幹線の耐震化工事であり、金屋地区から日沼地区までの1本と、新屋地区の配水場から松崎小学校までの1本、そして唐竹地区から竹館小学校までの1本の耐震化工事を予定している。これだけで何十億円も費用がかかるのだが、順番にやる必要があるので井沢団地に上水道を引くとなればかなり厳しい。ただ、できるかできないかについては協議する必要があると思う。

○河川の水の流れについて

(市民から)

りんごセンターから唐竹温泉の方につながる河川について、県の管轄だとは聞いているが、川の中に木がかなり茂っており水の流れがとても悪い。去年の台風で大雨が降った時は、あと30cm程度で水があふれそうな場所も見受けられた。川の底上げなどを県に要望してもらえればと思う。

(市から)

- ・川の中に茂っている木は至る所にあつて、県には対応をお願いしている。昨日の国交省河川国土事務所との話し合いの中にもあつたが、平川市は碓ヶ関地域の方から少しずつ河川の中の木を切ったりしているが、内水面漁協との協議もあつて、時間がかかっているようだ。そういう条件をクリアしながら、スムーズに水が流れていくよう対応しているが、すべては対応できていないのが現状である。
- ・緊急性があれば県でもすぐに対応してくれるケースはあるが、河川関係の予算はそれほどないので、なかなか進まない現状ではあるが、要望を続けていきたいと思う。

○市役所の窓口について

(市民から)

市役所に死亡などの届け出に行っても、まず市民課に行き、その後国保年金課に行つて、さらには健康センターに行くという形で、忙しい中でも何か所も行く必要がある。

非常に面倒なので、届け出に来た人は1カ所に座ったままで、あとは職員が来てくれるような体制をとって欲しいと思う。

(市から)

- ・新庁舎に関しては、コンセプトとしては市民の方が使いやすく、いつでも来ることができ、日常的に集まれるような庁舎にということで進めている。基本的にはワンフロアサービスといって、1階に行けばすべての用事が済むようなつくりにする予定であるが、その中で、職員が何う形での届け出というのは検討の余地があると思う。

(市民から)

申請の内容によっては、後ろに並んでいる人に聞かれたくないといったプライバシーの問題もあると思うので、そのあたりも検討してもらいたい。

(市から)

- ・新庁舎は、カウンターを1人1人仕切り、それに加えて相談室も設けるので、今よりプライバシーに配慮したつくりになる予定である。

○食ラボの予約について

(市民から)

食ラボでよく研修を受けたりするが、予約が非常に取りにくい。いろいろな加工をしたいが、結構使われているようで、空いている時がわからない。ホームページを見ても利用状況が表示されないので、予約状況がわかるようにしてほしい。

(市から)

- ・食ラボの予約状況については、ホームページに載せるとなると随時更新が必要になるかと思うが、それをできるのかも含めて検討する。市外の利用者も多いため予約が取りにくい状況であると思うが、ホームページができないのであれば、食ラボの入り口に掲示するなどの方法もあるかと思うので、検討したいと思う。

○新庁舎の案内表示について

(市民から)

新庁舎について、よく病院に行けば外科は青色の線の床を行けばよいとか、内科はオレンジ色とか床に線などを引いて案内しているので、そういう区別があればわかりやすいと思うので検討いただきたい。

(市から)

- ・新庁舎については、設計の方で案内表示について検討中であり、できるだけ市民が使いやすい表示の仕方を取り入れることとしているので、いただいた意見も参考にしながら進めたいと思う。

○市民の声を反映した行政運営について

(市民から)

先般、市議会議員の選挙が行われたが、大きい町会から議員が出なくなったように思う。議員がいない町会でも市民の声を反映できるような行政にしていきたい。

(市から)

- ・市民の声を反映するという意味もあって、今回のような懇談会という形で各町会を回って意見を伺っているところである。大きい町会から議員が出ていないことに対して

行政でできることは特段ないが、議員数が20人から16人に減ったこともあるので、十分に意見を聞いていきたい。

○将来に向けたまちづくりについて

(市民から)

現在、平川市全体で中学生が700人弱、小学生が1,400人弱いると聞いているが、子供たちが将来1人でも多く平川市に残るような施策をしていただきたい。

(市から)

- ・一部を除いて全国どこでも人口減少という課題を抱えている。出生より死亡が多いといった自然減と、就職や進学などで離れる社会減の2つがあって人口減少が進んでいくが、できるだけ減少率を少なくするという一方で、子育て支援や医療費支援といったことを実施している。
- ・平成30年度においては、平川市の人口は減少したが、進学などで離れる人よりも転入してくる人が60人ほど多かった。子育て世代を含めた住宅支援事業も実施しており、120世帯ほど入ってきている。平賀駅裏の開発など、民間での開発の推進もしており、人口減少は何とか抑えていきたいと考えているが、今の社会情勢ではまだまだ東京一極集中が続くので難しいところはある。市としてはある一定の線で人口減少を抑え、地域づくりを進めていきたいと思っている。

○渾神の清水のトイレについて

(市民から)

前にトイレを汚されたので、使用できないよう戸を閉めてもらったが、この間、見に行ったらさらに汚されていた。トイレを壊して無くすることはできないか。

(市から)

- ・財産区の議会でもそのような話があったので、内部で協議し、すぐに水質検査をしたところ異常なしであった。トイレに関しては管財課で管理しているが、取り壊して整理する予定となっている。

○共同防除組合の今後について

(市民から)

高齢化・少子化の話があったが、りんご農家でも高齢化が進んでいる。農協が絡む話にはなるが、私のいる平山共同防除組合でも、70代の5人と30代の3人の8人で、全員スピードスプレーヤーを運転しているが、近い将来80代になると運転に対して危険度が増す。

今後、共防自体がどうなるのかという不安もあるが、高齢になっても何かしらできるような防除や剪定技術のシステムなど、何かしら支援いただけるよう要望したい。

(市から)

- ・農家のみならず少子高齢化ということで、あらゆる産業で働き手が足りない。りんご農家のみ新たな支援をするというのはなかなか難しい。共防の再編も実施していかないと解決するのは難しいと思う。どういう支援ができるのか、今後の課題として捉えさせていただきたい。

○新庁舎におけるねぶた広場について

(市民から)

新庁舎には、ねぶた広場の設置が計画されていて、これと絡めて、最近、平賀駅前から電線を無くする工事をしているのかなとも思うが、このねぶた広場をどのように活用をしていく予定か。

(市から)

- ・電線については、国や県の支援を受けながら、令和3年頃を目途に平賀駅前から県道大鰐浪岡線までの電線の地中化を進めている。
- ・ねぶた広場については、設計している会社で名付けた名称であり、現段階で活用方法についてはまだ決まったものはない。ねぶた展示館もあるが、将来的にどこに置けば観光振興が図れるかということも考えながら、今後進めていく予定である。

○部活指導者への補助金について

(市民から)

昔であれば学校の先生が部活動の指導者となって教えていたが、今は学校の先生が忙しいということで、部外者が教えていることが多いと聞く。東北大会や全国大会に出場する場合、交通費などは助成しているのか。

(市から)

- ・県大会以上の大会に出場する場合は、市として助成している。
- ・学校の部活動である場合は、一部上限を設けて交通費や宿泊費等を全額支給している。クラブチームになると、100%支給にはならず、九州だと2万5千円が上限であり、関東なら1万5千円、南東北なら5千円といった形で、行く場所によって上限がある。学校の部活動かクラブチームかで線引きしている状況である。

(市民から)

個人種目で全国大会に行く場合、学校の先生以外が指導者になっている場合が多い。指導者はお金を欲しくてやっているわけではないと思うし、予算も絡む話だとは思いますが、指導者に対する援助についてはどうなっているのか。

(市から)

- ・部活動の場合、県大会以上の大会で10人以上が出場する場合については、引率者2名までを補助対象としており、1名は学校教諭でなくても良い。クラブ活動の場合、日頃から指導に携わっている方であれば、条件等はあるが補助対象としている。
- ・以前、平川市で相撲の巡業をやった際に剰余金が発生したが、この剰余金をスポーツ協会で基金として貯めており、市の補助対象とならないような遠征費用などは、この基金から捻出するという事はやっている。

○平川診療所の医師について

(市民から)

平川診療所の医師が退職されるという話を聞いたが、状況はどうなっているのか。

(市から)

- ・平川診療所の所長である永洞医師から、10月末で退職したいという願いが出された。医師確保はなかなか難しく、弘前大学医学部に医師派遣を依頼している。弘前大学からは、1人を週1回半日なら3月いっぱいまで出せるということだったのでお願いしている。
- ・今は阿部医師1人の状態になっており、葛川診療所にも行く必要があるので、11月からは金曜日のみ1日で、あとは午前中の診療とすることで対応する予定である。

○新庁舎の空調について

(市民から)

市役所本庁舎は夏になれば暑く、空調を入れて欲しいという話を聞くが、新庁舎になった場合、エアコンになるのか。それとも自然通風になるのか。

(市から)

- ・新庁舎については、20℃の地下水があるとのことで、この地下水を使って熱転換をはかり、空調に活用することとしている。これには環境省の補助事業を使うことにしているが、この補助をもらうには5月頃までに申請する必要がある、オイルダンパーの不正があったので1年遅らせることになった。
- ・来年申請できるよう準備しているところであり、これに加え、壁面の断熱などを組み合わせることで、今のような暑い庁舎ではなくなる。

(市民から)

オイルダンパーの代わりとなるものはどういうものか。

(市から)

- ・問題になったオイルダンパーの会社は2社あり、独占されているような状況であった

が、日立でオイルダンパーの製作を始めるということになった。不正があった2社は今まで使っていた所の回収などが主になり、新しいものを作ることが難しいとのことであったが、日立のものを使えることになったので、これを使えば設計の変更も不要ということで今は進んでいる。